



測量を学ぶ高校生が現場見学！

～盛土工事が進む能越自動車道の現場見学会を開催!!～

★金沢河川国道事務所は、能越自動車道 七尾氷見道路の平成26年度全線開通を目指して工事を進めています。

★能越自動車道の必要性や情報化施工に対する理解を深めてもらうことを目的に、県立七尾東雲高校2年生、3年生の皆さんを対象に、現場見学会を開催します。

【見学会の概要】

日時：平成26年7月14日(月) 11:20～(約40分)

場所：能越道 矢田道路その10工事現場
(七尾市矢田町)

参加者：ななおしのめ 県立七尾東雲高校生 11名 先生 2名 計13名

【見学会の内容】

- ・ブルドーザによる土砂の敷均し状況
- ・振動ローラによる土砂の締固め状況
- ・ブルドーザ、振動ローラへの体験乗車(停車)



施工機械内の情報化施工機器

情報化施工とは、情報通信技術を活用して、電子情報により高効率・高精度な施工を実現し、施工の効率化、施工精度の向上、品質の確保を図ることを目的としています。

※情報化施工については北陸地方整備局のHPをご参照下さい
(URL:<http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/youhouka/index.htm>)

お問い合わせ先

北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 (事業に関するお問い合わせ・取材のお申し込み)

事業対策官 北村 一成

電話：076-264-8575 (直通)

F A X：076-233-9631 (直通)

※番号通知設定でお掛け下さい。

※取材を希望される方は、工事現場内のため、事前に問い合わせ先(金沢河川国道事務所)までお申し込み下さい。

平成26年7月14日(月)

情報化施工現場見学会 位置図



七尾氷見道路

七尾氷見道路は、能越自動車道の一部を構成し、七尾市八幡「七尾IC(仮称)」～富山県氷見市大野「氷見IC」に至る、延長28.1kmの高規格幹線道路網です。

重要港湾七尾港・国際拠点港伏木富山港へのアクセスが強化される他、国道160号の事前通行規制区間等の迂回路としても期待されます。



七尾IC(仮称)から七尾城山ICを望む

